

証券コード：7226

極東開発工業株式会社



GOOD DESIGN AWARD 2021

BEST 100



第87期 中間決算のご報告

2021年4月1日～2021年9月30日

IR REPORT



トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2021年4月1日から2021年9月30日までの当社第87期第2四半期の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、4～6月期における国内総生産（GDP）がプラスに転じる等経済活動に回復が見られたものの、一方で新型コロナウイルス感染症の感染者数が過去最多となったことや、半導体不足に伴うシヤン生産の停滞、鋼材の値上げ等、依然として先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループでは引き続き、お客様、地域の皆様、従業員の安全を最優先とし、事業活動の継続に努めました。

また同時に、中期経営計画（3カ年計画）2019-21 ～To the Growth Cycle～（2019年4月1日～2022年3月31日）の最終年度として、業績の確保と各施策の実行に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は前年同期と比較して（以下、前年同期比）、売上高は前年同期比4,726百万円（9.0%）増加し57,494百万円となりました。営業利益は前年同期比861百万円（26.8%）増加し4,077百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比19百万円（0.7%）減少し2,761百万円となりました。



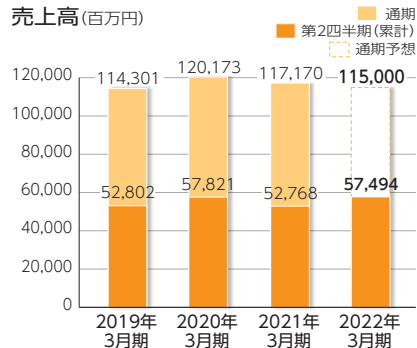
なお、当社は2022年4月に予定される新市場区分への移行に関し、株式会社東京証券取引所より、「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認したため、同市場を選択することを決定いたしました。詳細は2021年11月10日公表の『新市場区分における「プライム市場」の選択申請に関するお知らせ』をご参照ください。

当社は今後も持続的な成長と企業価値向上に向け、各事業の拡大に注力し、コーポレートガバナンスの充実を図ってまいります。

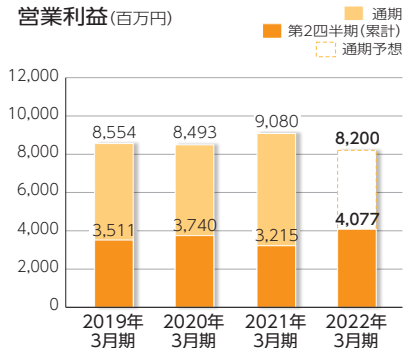
2021年12月 取締役社長 布原達也

■ 業績ハイライト

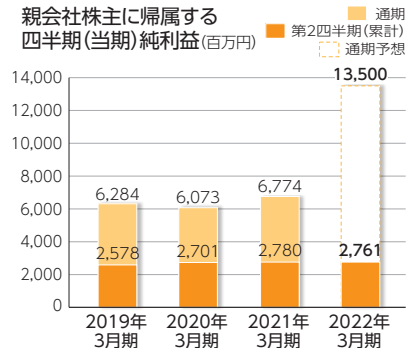
売上高(百万円)



営業利益(百万円)



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益(百万円)



大規模設備投資による大幅な生産性の向上を実現

横浜工場で中型リヤダンプトラックボデー自動化ラインが完成

横浜工場（神奈川県大和市深見西4丁目1-62）内にて設備投資を行いました中型リヤダンプトラックボデーの自動化ラインが完成しました。

本ラインは、横浜工場における主力製品の一つである中型リヤダンプトラックボデーの生産ラインを刷新したもので、自動溶接ロボットの増設をはじめ効率化を徹底的に追求したことにより、従来のラインと比較して約43%生産性を向上させました。なお、本設備投資に伴う投資額は約12億円であり、2021年9月から本格稼働を開始しました。

特装車は、一品一様でのオーダーメイドによる製作が多いことや、大型～小型までサイズも非常に多岐に亘るため生産の自動化が難しい製品ですが、今回の中型リヤダンプトラックボデーの自動化を皮切りに、他工程においても自動化を推進していく方針です。働き方改革への取り組みや、産業用ロボット導入に伴う省人化による適切な人員配置等、生産性向上を図ります。



横浜工場 中型リヤダンプトラックボデー自動化ライン

概要

名称 横浜工場 中型リヤダンプトラックボデー自動化ライン

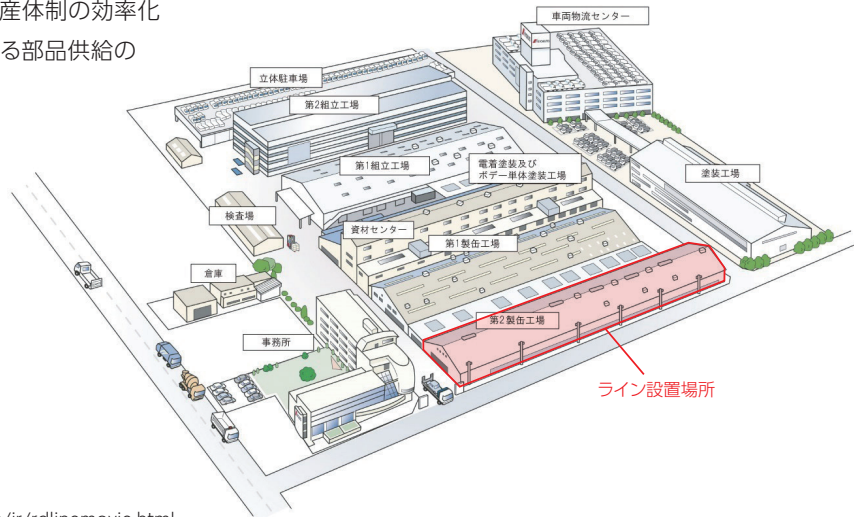
投資額 約12億円

目的 ①自動化による生産体制の効率化
②無人運搬機による部品供給の
効率化・省人化

ボデーライン全長 66m

ロボット台数 26台

物流システム 立体自動倉庫
設置・フォーク
型無人運搬機
による部品配膳



紹介動画を公開中

<https://www.kyokuto.com/ir/rdlinemovie.html>

横浜工場全景パース

パワフル&スピーディーな「赤」の脱着ボデー車！

新型7トン脱着ボデー車 「ハイパースイング・フックロール®」を発売

機能を大幅に進化させた新型7トン脱着ボデー車「ハイパースイング・フックロール」を開発し、2021年5月より発売しております。

新型の7トン車では、性能や動作のスムーズさと強靭さをイメージする「ハイパースイング」独自のアーム部赤色塗装等の機能美を同車両の4トン車から踏襲しています。吊上げ能力の従来機比9%増加や、アイドルアップの自動化により作業スピードを最適化し、アクセル操作を行うことなく素早く安全な作業を可能とするなど、基本性能を大幅に向上させました。

また車体を最適設計にしたことで、作業部分全長の短縮化による現場での対応力強化に加え、負荷のかかるアーム部の強度を向上しながら軽量化を実現しました。

従来機に比べ積載量が増加したことで作業効率向上に貢献します。



新型7トン「ハイパースイング・フックロール」

積載量の大幅な向上と輸送経済性を両立！

新型「テレスコ式土砂ダンプトレーラ (GVW36t)」を発売

積載量の大幅な向上と輸送経済性の確保を両立させた新型「テレスコ式土砂ダンプトレーラ (GVW36t)」を開発し、2021年5月より発売しております。

新機種は、ダンプ機構にテレスコ式シリンダを採用し重量バランスを最適化させたほか、耐摩耗鋼板 (HARDOX) を使用した曲げ構造のボデー形状による大幅な軽量化と、強度を保ちながらもスチフナ (補強柱) レスとするなど、美観に溶け込むすっきりかつシンプルなデザインとしました。

また、足回りにはエアサスペンションとリフトアクスルの採用による空荷輸送時の1軸走行機能により、高速道路料金のコスト削減や、タイヤの摩耗減少、燃費向上等によるランニングコストの低減を図ることが可能です。

土砂の大量輸送と、輸送経済性の確保という近年高まっているそれぞれのニーズを両立させた、新しいダンプトレーラです。

特
徴

1. テレスコ式シリンダを採用
2. 耐摩耗鋼板 (HARDOX) を採用した曲げ構造ボデー
3. エアサスペンションとリフトアクスルを採用
4. ダンプ横転警告システムを新たにオプション設定



新型「テレスコ式土砂ダンプ
トレーラ (GVW36t)」

TOPICS

「大型リヤダンプトラック耐摩耗鋼板(HARDOX)仕様」・ ごみ収集車安全支援システム「KIES® (キース)」が 「2021年度グッドデザイン賞」を受賞

 **GOOD DESIGN
AWARD 2021**

当社が製造・販売する「大型リヤダンプトラック耐摩耗鋼板 (HARDOX) 仕様」・ごみ収集車安全支援システム「KIES (キース) (※)」が、「2021年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

なお「大型リヤダンプトラック耐摩耗鋼板 (HARDOX) 仕様」は、本賞の受賞対象の中で、審査委員会により特に高い評価を得た100件に贈られる、「グッドデザイン・ベスト100」にも選出されました。

当社グループでは、今回の受賞をはじめとして、今後もお客様の多様なニーズを的確に捉えた魅力ある製品ラインナップの強化に努めてまいります。

(※) KIES : Kyokuto Intelligent Eye System

ごみ収集車安全支援システム
「KIES (キース)」

ごみ収集車安全支援システム
KIES
Kyokuto Intelligent Eye System



大型リヤダンプトラック耐摩耗鋼板 (HARDOX) 仕様



(画像は検知イメージ)

紹介動画を公開中



食品廃棄物を有効利用する バイオガスプラント施設が完成

DOWAグループのバイオディーゼル岡山株式会社様から受注したバイオガスプラント施設が2021年1月に竣工しました。(2019年9月起工)

「食品リサイクル工場」と名付けられた本施設は、食品廃棄物のメタン発酵処理を行うバイオガスプラントで、包装容器等を取り除く前処理設備を設け、飼料や肥料へのリサイクルが難しい食品廃棄物を有効利用します。

食品廃棄物の受入計画量は年間16,000tで、メタン発酵を用いたバイオガス発電により、約1,600世帯の年間電力使用量に相当する発電と売電を行う計画です。

概要

施設名	食品リサイクル工場
設置場所	岡山県岡山市南区築港栄町7番49
敷地面積	8,900㎡

木質バイオマスをエネルギー利用 できる混合燃料製造施設が完成

西天北五町衛生施設組合様から受注した使用済み紙おむつ燃料化施設が2021年3月に竣工しました。(2019年6月起工)

本施設は地域で廃棄されていた使用済み紙おむつと剪定枝等の木質バイオマスをエネルギー利用するための混合燃料製造施設であり、混合燃料により安定燃焼を実現しました。

製造された混合燃料は、地域の老人ホームに整備された専用ボイラで燃焼し、給湯熱源に利用される等、エネルギーの地産地消に貢献します。

当社は、環境事業を通じて、環境負荷の低減及びSDGsの達成に向け取り組んでまいります。



使用済み紙おむつ燃料化施設
(西天北サーマルリサイクルファクトリー)

概要

施設名	西天北サーマルリサイクルファクトリー
設置場所	北海道天塩郡幌延町字幌延883番地
敷地面積	約8,000㎡

現地において立体駐車装置を拡販

インドネシアで大規模立体駐車装置が竣工

インドネシアの現地法人（PT. Kyokuto Indomobil Distributor Indonesia：ジャカルタ市）を通じて受注してありました大規模立体駐車装置が竣工しました。

今回竣工した大規模立体駐車装置は、インドネシアの大手財閥企業であるサリムグループのビル管理会社であるPT. SERASI TUNGGAL MANDIRIより受注したもので、ジャカルタ市内の中心部である、独立記念塔（モナス）や国会議事堂近くに所在するオフィスビルのWisma Indocement（インドセメントビル）に建設された、4段式で合計76台の駐車可能な装置です。限られたスペースを最大限に活用するという立体駐車装置のメリットを発揮し、入居テナントの社用車や従業員の車両、来客車両の駐車場として利用される予定です。

当社グループでは、経営資源を積極的に海外事業に投入し、業績の拡大に一丸となって努めております。

インドネシアにおいても、立体駐車装置や特装車の展開によるインフラ整備を通して、現地の社会に貢献してまいります。

インドネシア 大規模立体駐車装置
(Wisma Indocement)



「はたらく鉄道車両」の高まる需要に増産対応

極東開発グループの北陸重機工業 新工場が完成



グループ会社の北陸重機工業株式会社は、生産の増強を目的とした設備投資を行い、新第一工場及び新事務所が2021年11月に竣工しました。

新工場は、国内外で高まる保線用鉄道車両等の需要に対応するため、生産能力を約50%増強し、作業効率の大幅な向上と新設備による製品ラインナップの拡充、安全な生産を可能としました。

なお、本社事務所棟も併せて建替え、業務環境の向上を図っております。

本件に係る投資額は新工場・新事務所合計で約7億円です。

北陸重機工業では今後、国内だけでなく発展途上国を中心に国外への保線用鉄道車両の供給を進めることにより、現地鉄道網の展開と経済発展の一助となるよう、事業の拡大を進めてまいります。

当社グループでは、設備投資を積極的に進め、「はたらく自動車」・「はたらく鉄道車両」の製造を通じ、国内外における社会インフラの構築・維持管理に貢献してまいります。



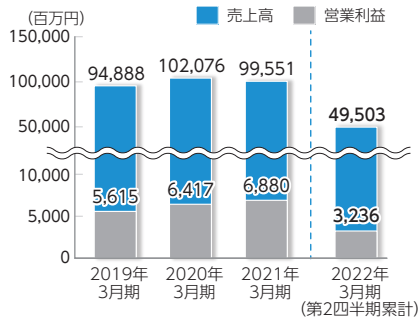
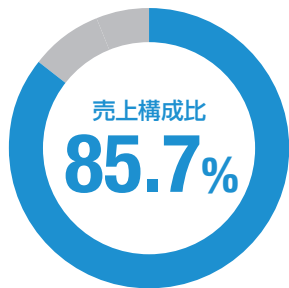
北陸重機工業株式会社 本社 新第一工場

概要

名称	北陸重機工業株式会社 本社第一工場・本社事務所
面積	敷地面積 3,948㎡／延床面積 3,483㎡
投資額	約7億円

■ セグメント別概況

〔 特装車事業 〕



プレスパック®

国内需要は引き続き底堅く推移いたしました。当社グループは新型コロナウイルスの感染対策を講じながら積極的な受注確保を図るとともに、生産工場における効率化・合理化による生産性の向上も図りました。

横浜工場では生産性向上を目的とした大規模設備投資により、主力製品の一つである中型リヤダンプトラックボデー生産ラインの自動化を行い、9月から本格稼働を開始いたしました。今後も各生産拠点において、生産性の向上により特装車事業の強化を図ります。

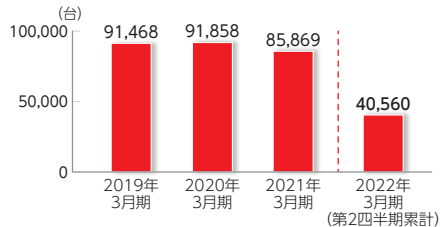


また、製品ラインナップである「大型リヤダンプトラック耐摩耗鋼板 (HARDOX) 仕様」及びごみ収集車安全支援システム「KIES (キース)」が2021年度グッドデザイン賞を受賞しました。なお、「大型リヤダンプトラック耐摩耗鋼板 (HARDOX) 仕様」は、受賞製品の中で審査委員会より特に高い評価を得た100件に贈られる、グッドデザイン・ベスト100にも選出されました。

海外においてはインドのSATRAC社を中心に特装車の拡販を行い、売上と利益の確保に努めました。

当セグメントの売上高は前年同期比4,272百万円 (9.4%) 増加し49,503百万円となりました。営業利益は前年同期比560百万円 (20.9%) 増加し3,236百万円となりました。

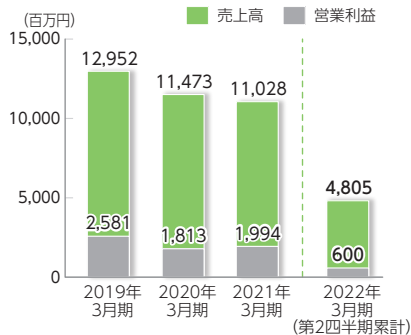
■ 国内普通トラック登録台数の推移



ピストンクリート® PY165-39

■ セグメント別概況

[環境事業]



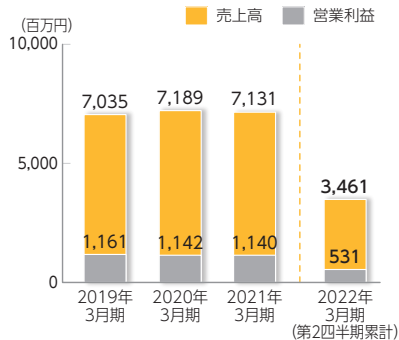
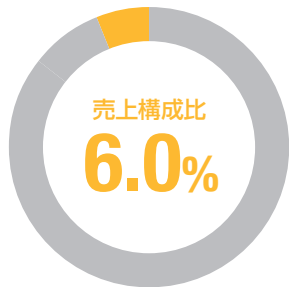
リサイクルプラザ (那覇市)

プラント建設では新規物件の受注活動と受注済物件の建設工事を進めたほか、メンテナンス・運転受託等のストックビジネスにも注力いたしました。

当セグメントの売上高は前年同期比303百万円（6.7%）増加し4,805百万円となりました。営業利益は前年同期比47百万円（7.3%）減少し600百万円となりました。



[不動産賃貸等事業]



P.ZONE® 極東開発工業本社前駐車場

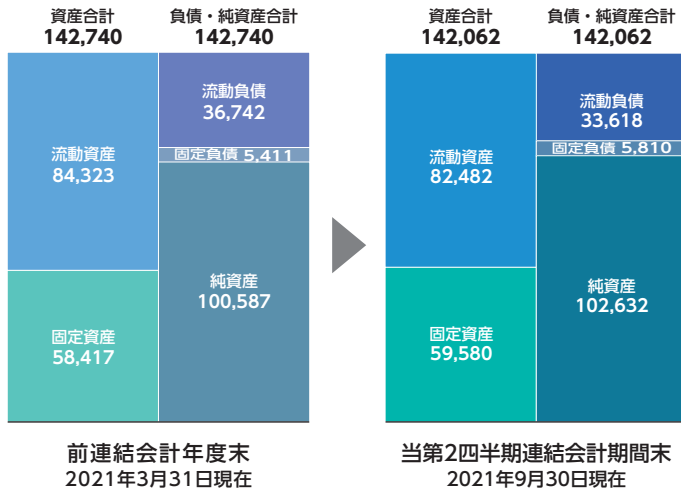
立体駐車装置は新規物件の受注活動と、リニューアル及びメンテナンス等のストックビジネスに継続して注力いたしました。インドネシアでは現地法人を通じて受注した大規模立体駐車装置が2021年8月に竣工し、今後も現地において立体駐車装置の利便性を訴求することで拡販を図ります。

コインパーキングは新型コロナウイルス感染症の影響による稼働率の低下から緩やかに改善いたしました。

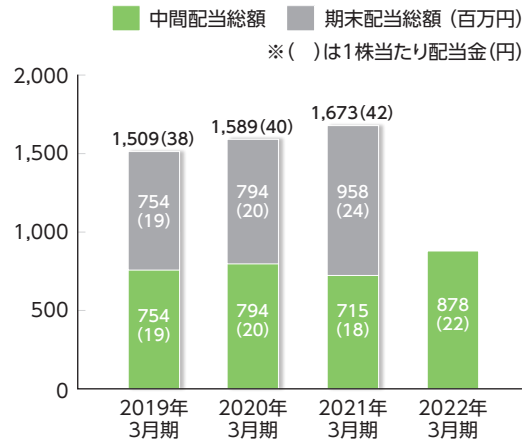
当セグメントの売上高は前年同期比170百万円（5.2%）増加し3,461百万円となりました。営業利益は前年同期比84百万円（18.9%）増加し531百万円となりました。

■ 連結財務データ (日本基準)

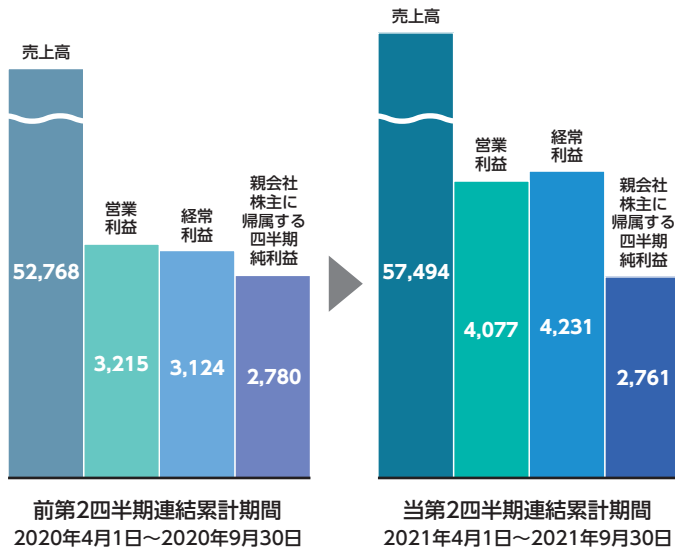
四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)



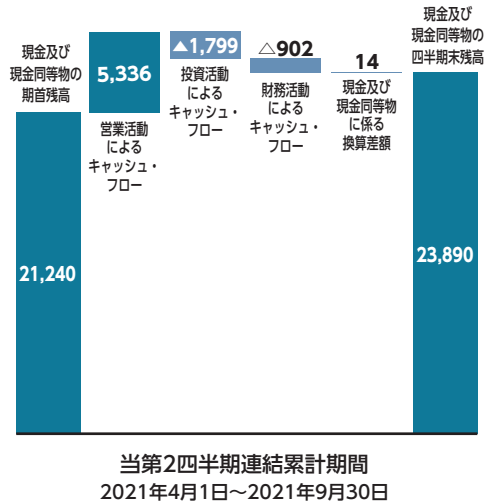
配当総額の推移



四半期連結損益計算書の概要 (百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



■ 企業データ (2021年9月30日現在)

[会社概要]

商 号	極東開発工業株式会社 KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
設 立	1955年6月1日
資 本 金	11,899,867,400円
従 業 員 数	連結3,122名 単独1,102名

[役 員]

代 表 取 締 役 会 長	高 橋 和 也
代表取締役社長 社長執行役員	高 布 原 達 也
取 締 役 常 務 執 行 役 員	則 光 健 男
取 締 役 常 務 執 行 役 員	原 田 一 彦
取 締 役 常 務 執 行 役 員	加 藤 定 宣
取 締 役 執 行 役 員	堀 本 昇
社 外 取 締 役	堀 木 戸 洋 二
社 外 取 締 役	道 上 明

常 勤 監 査 役	杉 本 治 己
監 査 役	越 智 聡 一 郎
社 外 監 査 役	乗 鞍 良 彦
社 外 監 査 役	藤 原 邦 晃
常 務 執 行 役 員	中 島 光 彦
常 務 執 行 役 員	木 津 幸 晃
執 行 役 員	櫻 井 幸 広
執 行 役 員	細 澤 晋 一
執 行 役 員	高 濱 田 豊
執 行 役 員	吉 牛 尾 昌 史
執 行 役 員	千 々 岩 伸 佐 久
執 行 役 員	野 村 達 也 介
執 行 役 員	岩 田 圭 介

■ 株式データ (2021年9月30日現在)

[株式の状況]

発行可能株式総数 170,950,672株

発行済株式総数 42,737,668株

株 主 数 3,223名

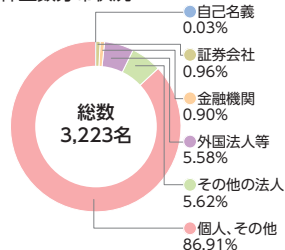
大 株 主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,462	11.17
INTERTRUST TRUSTEES (CAYMAN) LIMITED SOLELY IN ITS CAPACITY AS TRUSTEE OF JAPAN-UP	1,836	4.60
株式会社三井住友銀行	1,600	4.00
株式会社日本カストディ銀行 (リそな銀行再信託分・株式会社みなと銀行退職給付信託口)	1,498	3.75
極東開発共栄会	1,396	3.50
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,295	3.24
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,012	2.53
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	825	2.07
宮原 幾男	814	2.04
極東開発従業員持株会	809	2.03

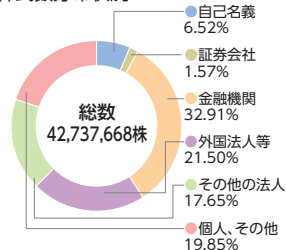
(注) 持株比率は、当社が保有する自己株式 (2,787千株) を控除して計算しております。

[株式分布状況]

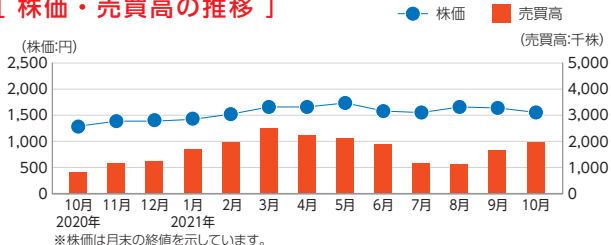
株主数分布状況



株式数分布状況



[株価・売買高の推移]



[株主メモ]

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末 3月31日 中間 9月30日
公告方法	電子公告 当社ホームページにて掲載 (https://www.kyokuto.com/)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上 場 取 引 所	東京証券取引所市場第一部

Kyokuto Kaihatsu Kogyo Co., Ltd.

<ご注意>

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

極東開発工業株式会社 総務部

TEL:0798-66-1000

URL:<https://www.kyokuto.com/>

MAIL:soumu@kyokuto.com

社名・商品名・ロゴ等は各社の商標または登録商標です。

